

2007年度経営プラン 中間フォロー

2007年11月9日
古河電気工業株式会社
取締役社長 石原 廣司

1. 07年度上期決算ハイライト
2. 07年度下期経営プラン
3. セグメント情報

1. 07年度上期決算ハイライト

07年度上期決算ハイライト

前年同期比で増収・営業減益・経常増益

売上高は上期として過去最高

営業利益は予想値に到達

情報通信、エネルギー・産業機材が貢献

米OCP(光部品)を米オプリンク社に売却

中間配当は前年同期比 + 0.5 円の 3.5 円に増配

(単位:億円)	<u>06上期実績</u>	<u>07上期予想</u>	<u>07上期実績</u>	<u>07予比</u>
売上高	5,157	5,600	5,775	+ 3%
営業利益	239	210	210	± 0%
経常利益	202	177	226	+ 28%
当期利益	148	75	146	+ 95%
配当 / 株	3.0円	3.5円	3.5円	

営業利益増減

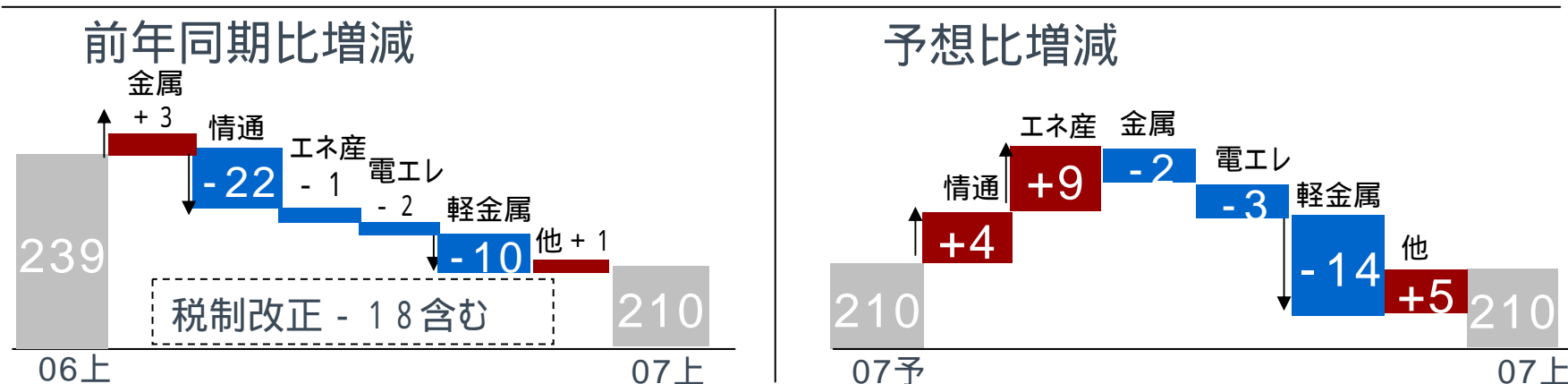
(単位: 億円)

< 前年同期比-29 > * 税制改正による減価償却費の増加分-18を含む

金属	+3	銅箔(Li電池、FPC向け)好調
情報通信	-22	米OCP不振(6月に売却済)、ルータ低調
軽金属	-10	アルミ厚板(半導体・液晶製造装置向け)低調

< 予想比±0 >

情報通信	+4	光ケーブル、CATV等ネットワーク製品好調
エネ産機	+9	電力ケーブル・機器、半導体テープ好調
軽金属	-14	アルミ厚板(半導体・液晶製造装置向け)低調



07年度上期連結P L

FURUKAWA ELECTRIC

(単位: 億円)

	06年度上期実績		前回見通し (5/11時点)		07年度上期実績	
	A	利益率 (%)		利益率 (%)	B	利益率 (%)
売上高	5,157		5,600		5,775	
(うち単体)	2,406		2,500		2,595	
(うちOFS)	187		231		220	
営業利益	239	4.6%	210	3.8%	210	3.6%
(うち単体)	59	2.4%	35	1.4%	45	1.7%
(うちOFS)	1	0.4%	9	4.0%	9	3.9%
経常利益	202	3.9%	177	3.2%	226	3.9%
(うち為替損益)	-14		0		41	
(除く為替損益)	216	4.2%	177	3.2%	184	3.2%
特別損益	102		-19		-44	
税・税調整額	-134		-55		-19	
当期純利益	148	2.9%	75	1.9%	146	2.5%

上期として過去最高

1月～6月の円安進行で海外子会社向け円建てローンから為替益発生

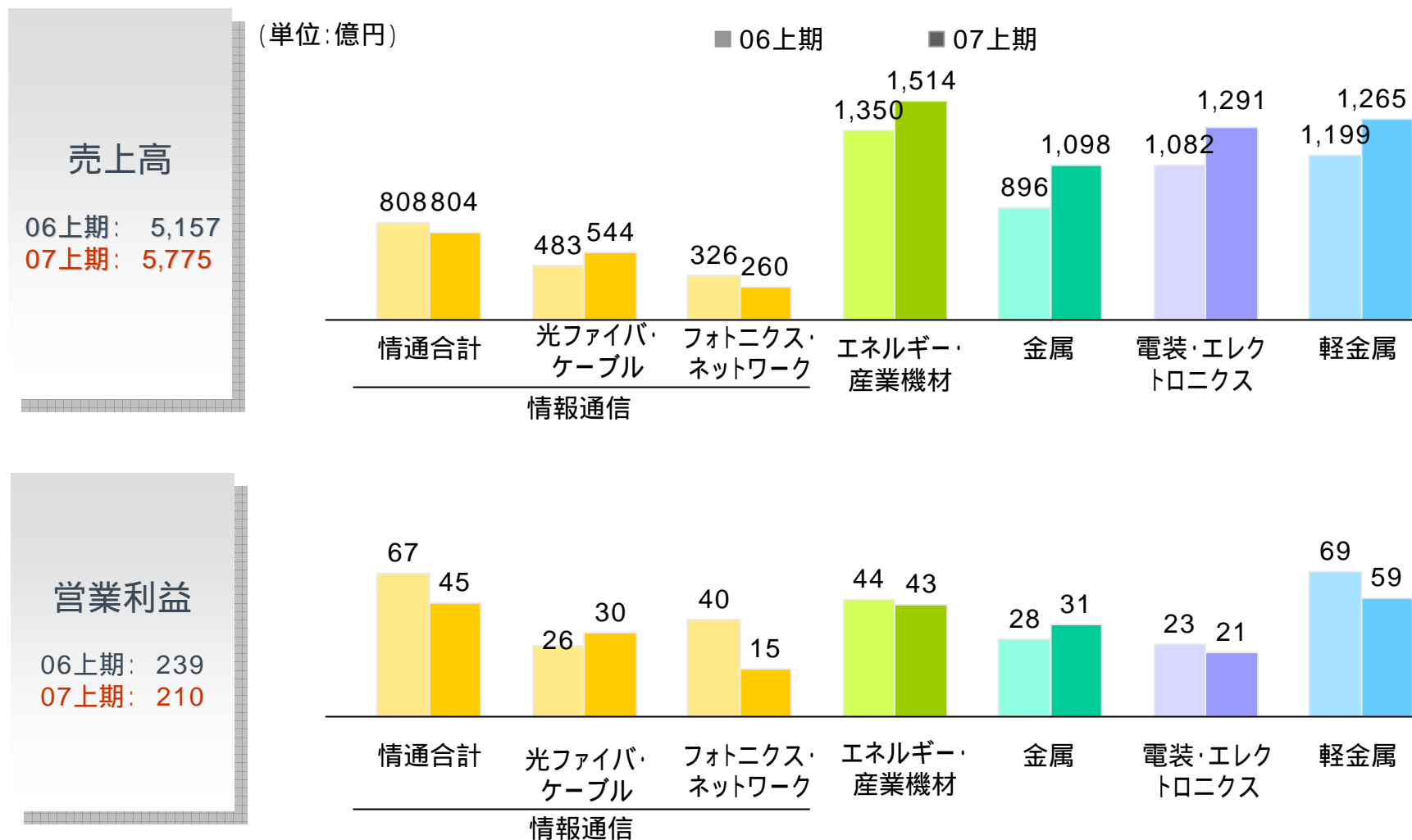
前年度に有税で評価減したOCP社株の売却による税金の戻り等33億円発生

(単位: 円)

EPS	21.0	10.6	20.8
-----	------	------	------

セグメント別06/07年上期売上高・営業利益 FURUKAWA ELECTRIC

営業利益への税制改正影響 - 18億円



設備投資 / 減価償却

素材力強化の積極投資

07年度設備投資計画 : 566億円

07年度減価償却費計画: 456億円

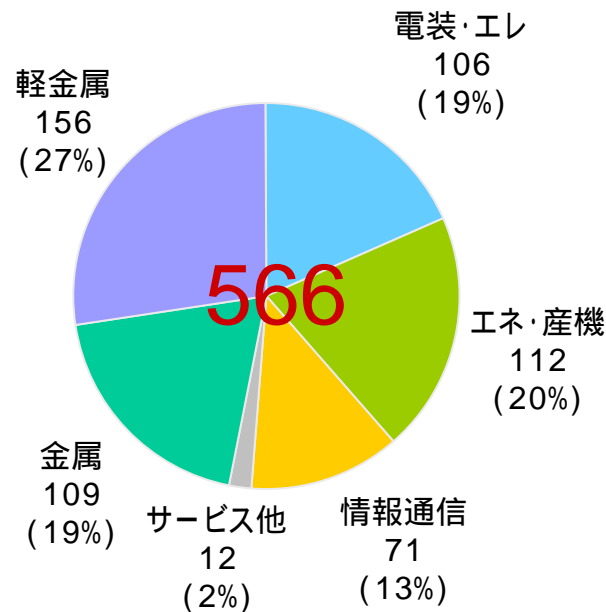
上期の実績と主な投資

設備投資 : 212億円

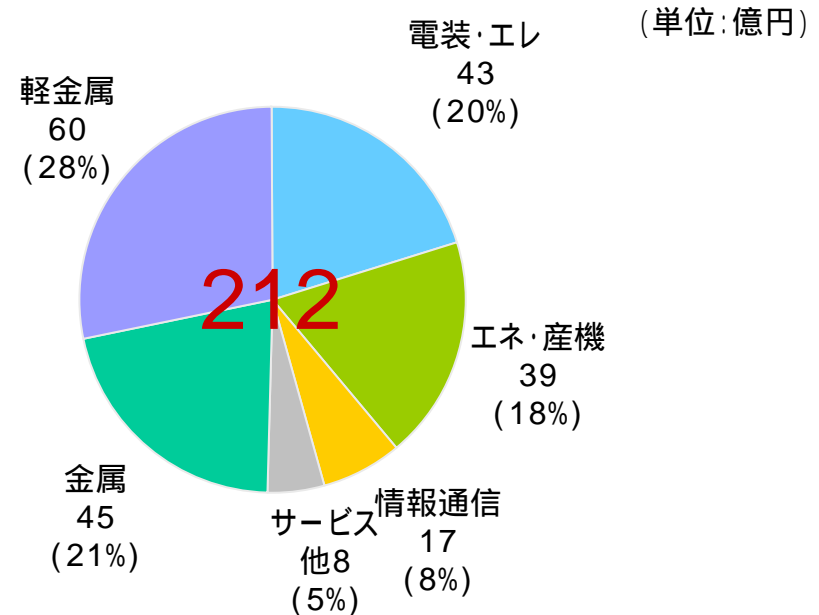
減価償却費: 207億円

軽金属 圧延機モーターAC化、鋳造ライン増設
 金属 銅箔増産
 電装エレ 巻線新設備、自動車部品統合
 エネ産機 中国高圧ケーブル、半導体テープ増産
 情報通信 OFS露・独光ファイバケーブル増産

07年度計画



07年上期実績



成長に向けた07年度上期の取り組み

グローバル拡大・増産投資

多軸マーケットで高付加価値商品に集中投資

利益の確保・ 資産効率の改善

成長のためのキャッシュ創出

情報通信	<p>OF Sロシア光ケーブル増産(07年10月~順次) ✓ OF Sドイツ光ケーブル増産(08年後半予定)</p>	OCP売却(07年6月) ✓
エネ・産機	<p>半導体テープ能力倍増(年度内予定) 中国超高压ケーブル増産(08年4月予定)</p>	
金属	<p>電解銅箔増産(07年5月) ✓ 銅条増産(09年度予定)</p>	
電装・エレ	ワイヤハーネスインド拠点(08年9月量産開始予定)	子会社へ自動車部品事業集約(07年10月) ✓
軽金属	<p>中国アルミ押出新会社(年内量産開始予定) インドネシア、ベトナム増産(年内予定)</p>	生產品種統合(年度内)

主要経営指標の推移

銅・アルミ地金高騰で利益率が低下

(単位: 億円)

	05年度	06年度	07上期
売上高営業利益率	4.3%	4.9%	3.6%
総資産回転率	0.8	1.0	1.1
ROA (総資本営業利益率)	3.6%	4.9%	3.8%
ROE (自己資本当期純利益率)	12.8%	12.7%	11.9%
有利子負債残高	4,353	4,282	4,331
D/Eレシオ	2.0	1.8	1.7
海外売上高比率	25.9%	29.3%	31.4%

(ROE、D/Eレシオの自己資本は少数株主・繰延ヘッジ損益を除く従来ベース)

2. 07年度経営プラン

07年度連結業績予想

FURUKAWA ELECTRIC

(単位:億円)	07従来予想	07新予想	新旧予想比
売上高	11,500	11,600	+100
営業利益	510	510	
為替(営業外):	±0	-21	
経常利益	430	430	
当期純利益	185	200	+8%
1株当り純利益	26.2円	28.7円	+2.5円
中間配当	3.5円	3.5円	
年間配当	7.0円	7.0円	
前提			
為替(¥/\$)	115	115	
銅(¥/kg)	860	920	
アルミ(¥/kg)	330	330	

成長に向けた07年度下期の取り組み

07年度方針

取り組み

グローバル拡大・
増産投資

多軸 マーケットで高付加価値商品に 集中 投資

- 総合技術展開催による拡販強化
- 設備投資のスムーズな立ち上げ
 - 軽金属 圧延機モーターAC化、鋳造ライン増設
 - 金属 銅箔増産
 - 情報通信 OFS独・露光ファイバケーブル増産
 - エネ産機 中国高圧ケーブル、半導体テープ増産
- FCIジャパンの電力部品部門買収で事業拡大

研究開発投資

勝てる素材 で世界トップの独創的セグメントを創出
超電導ケーブル素材、光インターコネクション、ガラス基板の開発継続

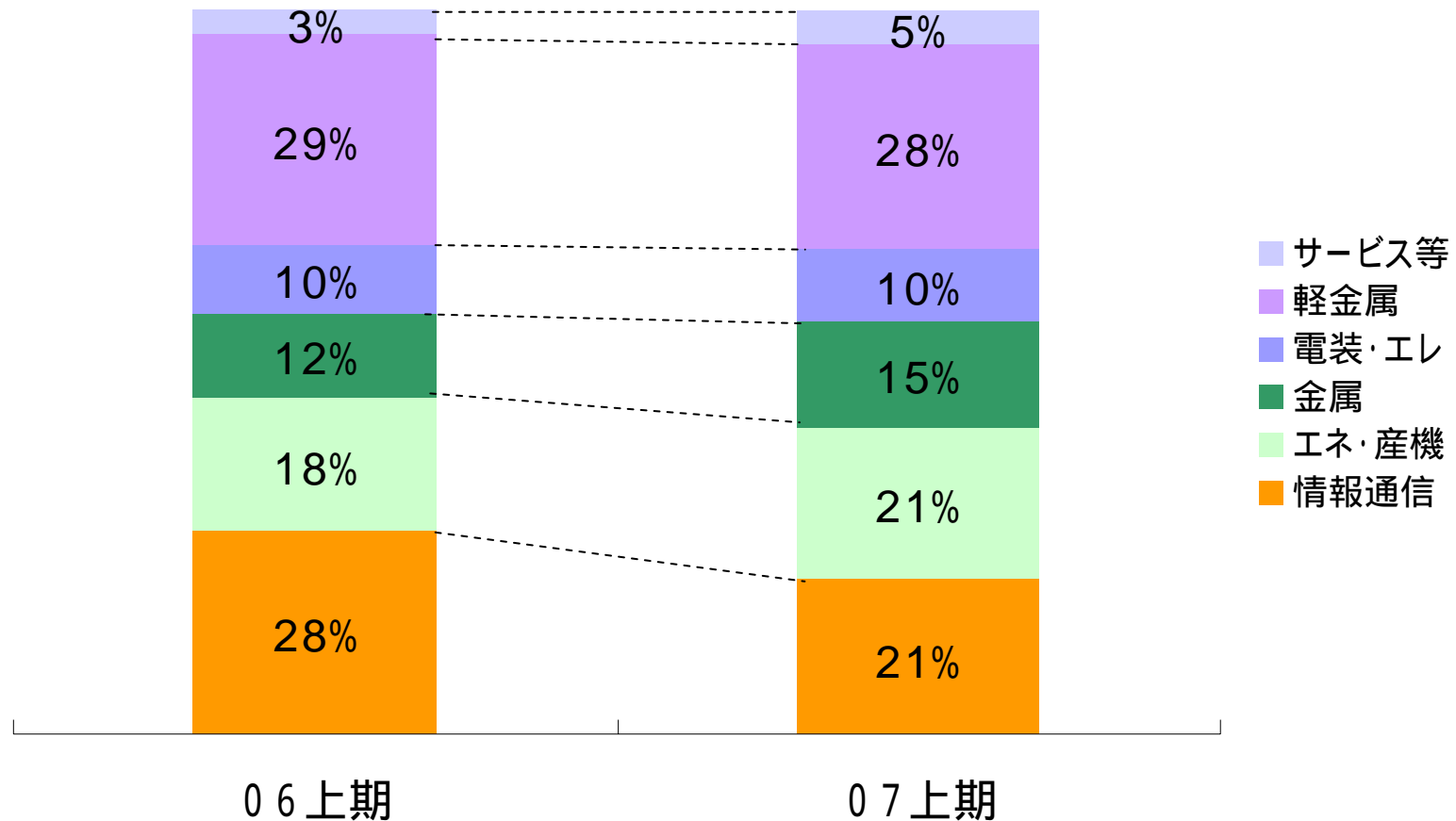
利益の確保・
資産効率の改善

自社株活用によるグループ資本金体制の見直し

3. セグメント情報

セグメント別営業利益構成の推移

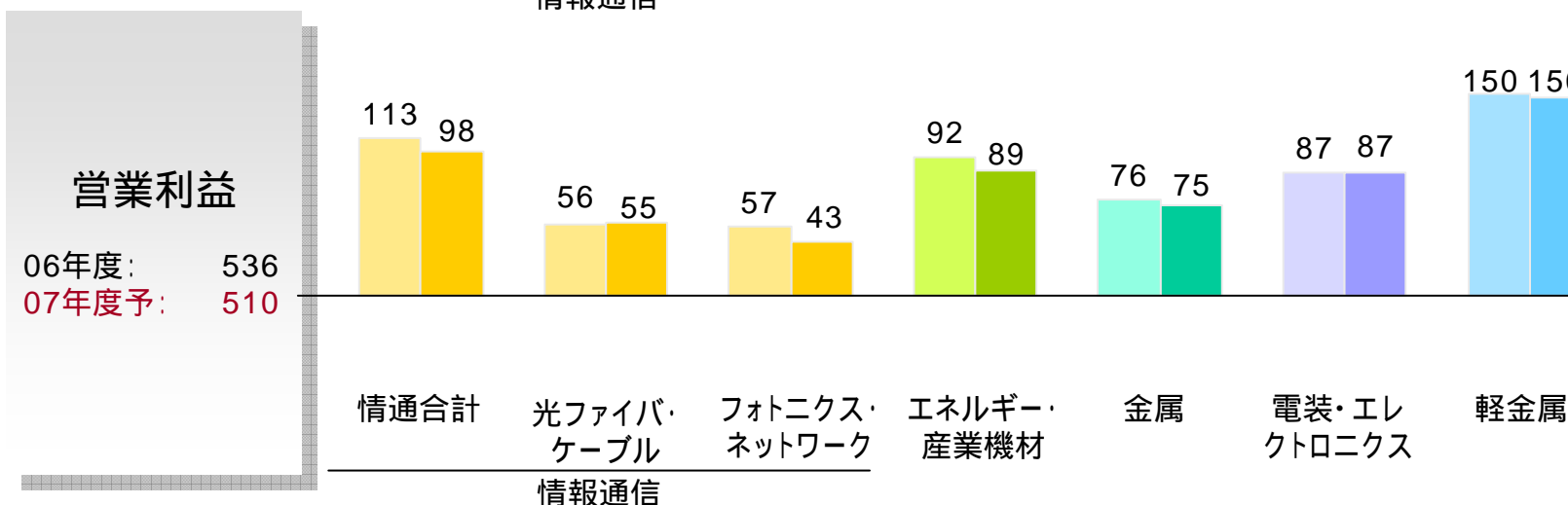
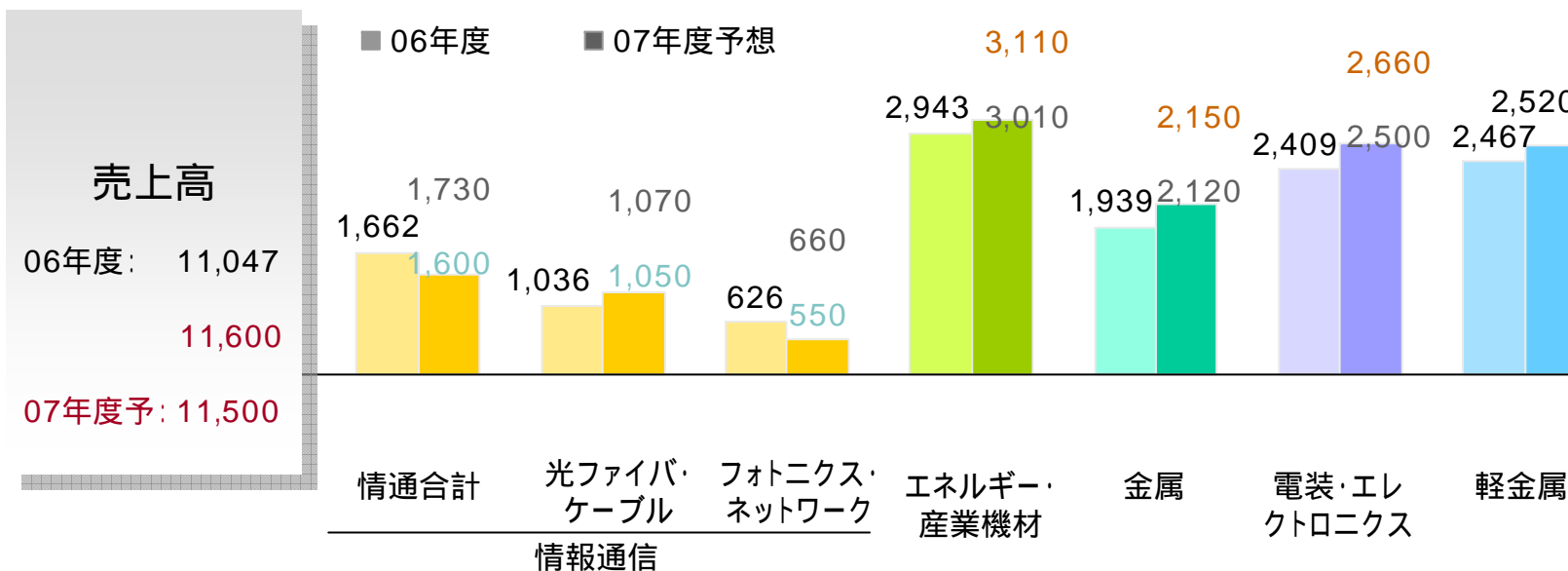
< 多軸化進行 > エネルギー・産業機材、金属の割合増



セグメント別06/07年売上高・営業損益予想 FURUKAWA ELECTRIC

通期売上高予想 100億円上乘せ

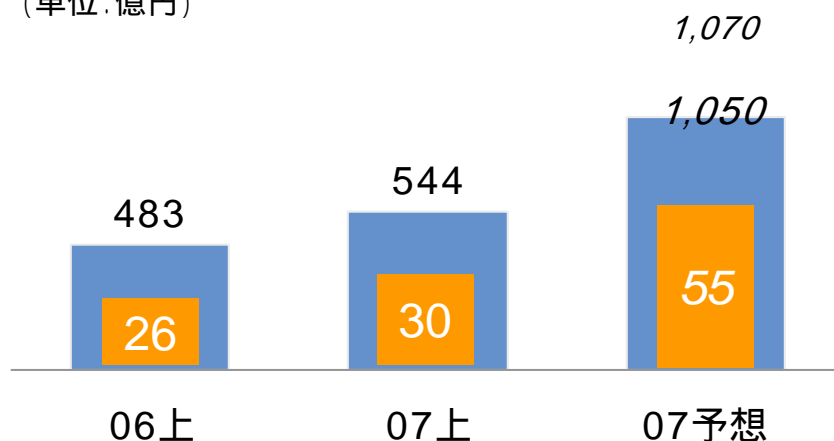
(単位:億円)



情報通信 < 光ファイバ・ケーブル >

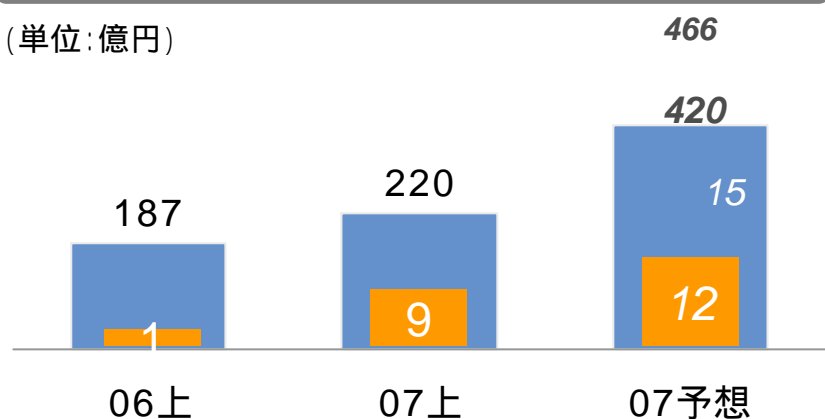
売上高 ■ 営業利益

(単位: 億円)



うちOFSビジネス

(単位: 億円)



営業利益 06上 07上 26 30 +4億円

海外

- 米OFS 欧米キャリア需要増で増収・増益
- ブラジルFISA LANケーブル好調

国内

ファイバ売上量増加も価格下落傾向続く

営業利益 07上予 07上 28 30 +2億円

海外

ブラジル、タイ子会社好調

国内

携帯・鉄道・FTTH向け光ケーブル堅調

通期営業利益 06 07予 56 55 -1億円

売上高予想ダウン 国内外ともに不透明感

海外

米OFS不透明感 ブラジルFISA好調続く

国内

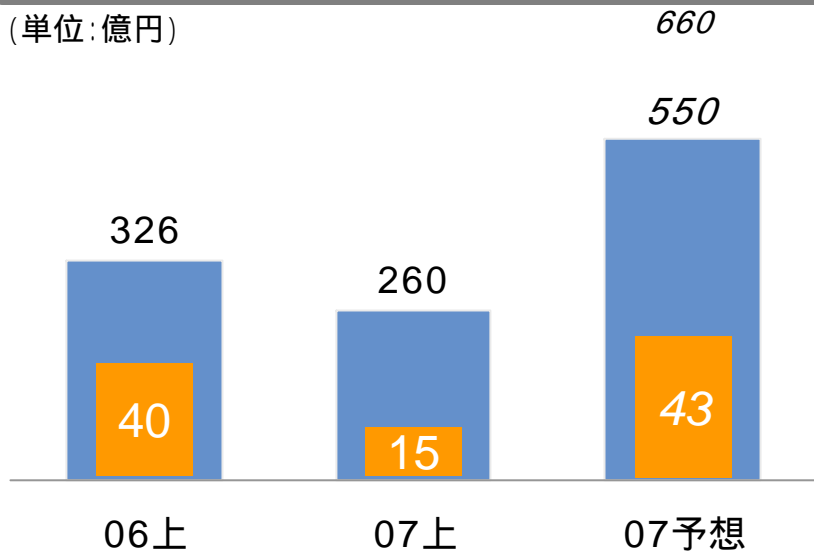
下期不透明感 コスト力強化

情報通信 < フォトニクス・ネットワーク >

FURUKAWA ELECTRIC

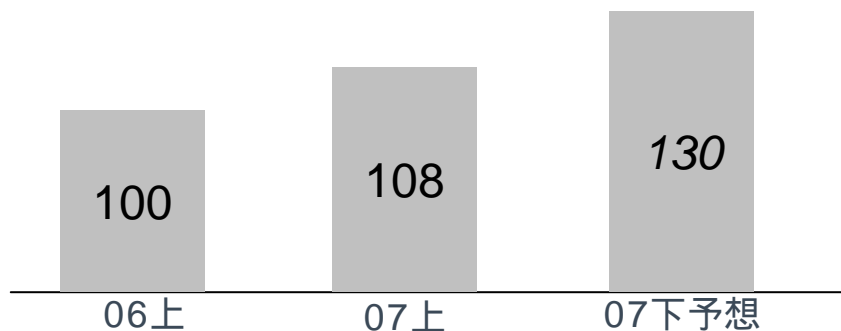
売上高 ■ 営業利益 ■

(単位: 億円)



成長商品の売上高 (06上 = 100)

アクティブ光部品・機器 (光アンプ、レーザ)



06上 07上 40 15 -25億円

フォトニクス
米OCP低迷(6月に売却済)・アクセス系価格ダウン

ネットワーク
ルータの需要一巡

07上予 07上 13 15 +2億円

フォトニクス
光アンプ回復、レーザ好調

ネットワーク
CATV、鉄道トンネル携帯電波システム好調

06 07予 57 43 -14億円

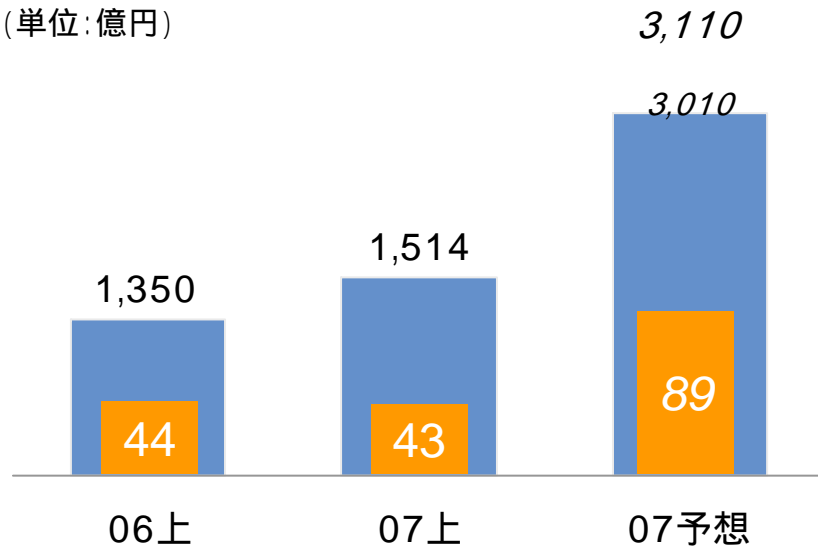
売上高予想ダウン 主にOCP除外分(6月売却済)

フォトニクス
光アンプ・レーザ好調続く
ネットワーク
CATV等好調続く

エネルギー・産業機材

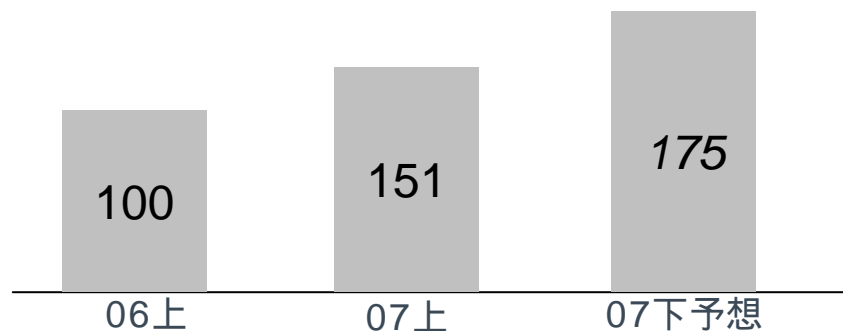
売上高 ■ 営業利益 ■

(単位:億円)



成長商品の売上高(06上 = 100)

半導体テープ



06上 07上 44 43 -1億円

エネルギー

- 銅線・産業電線低調
- 中国高压ケーブル瀋陽古河好調

産業機材

- 半導体テープ好調
- 発泡材原料アップ

07上予 07上 34 43 +9億円

エネルギー

中国高压ケーブル瀋陽古河好調

産業機材

半導体テープ好調

06 07予 92 89 -3億円

売上高予想アップ 銅地金高騰続く

エネルギー

中国高压ケーブル瀋陽古河好調続く

産業機材

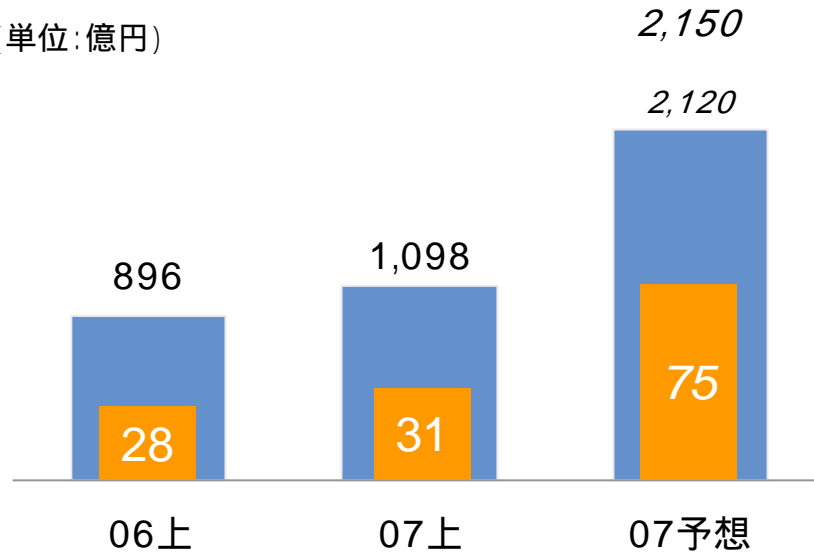
半導体テープ好調続く

建材向け発泡材需要減

金 属

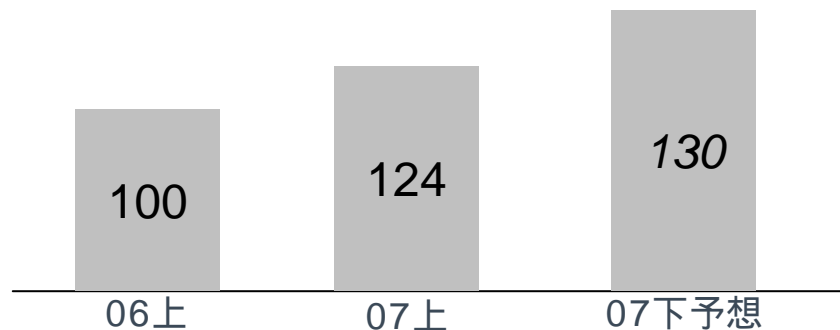
売上高 ■ 営業利益 ■

(単位:億円)



成長商品の売上高(06上 = 100)

電解銅箔



06上 07上 28 31 +3億円

銅条・銅管

- 銅条は端子コネクター向けなどで量減少
- 銅管はエアコン向けが昨年を上回り堅調

電解銅箔

Li電池・FPC関連で需要旺盛 増産が寄与

07上予 07上 33 31 -2億円

銅条

売上量減少が影響

電解銅箔

国内(特殊)・台湾(一般)とも旺盛な需要

06 07予 76 75 -1億円

売上高予想アップ 銅地金高騰続く

銅条

コストダウン強化を推進

電解銅箔

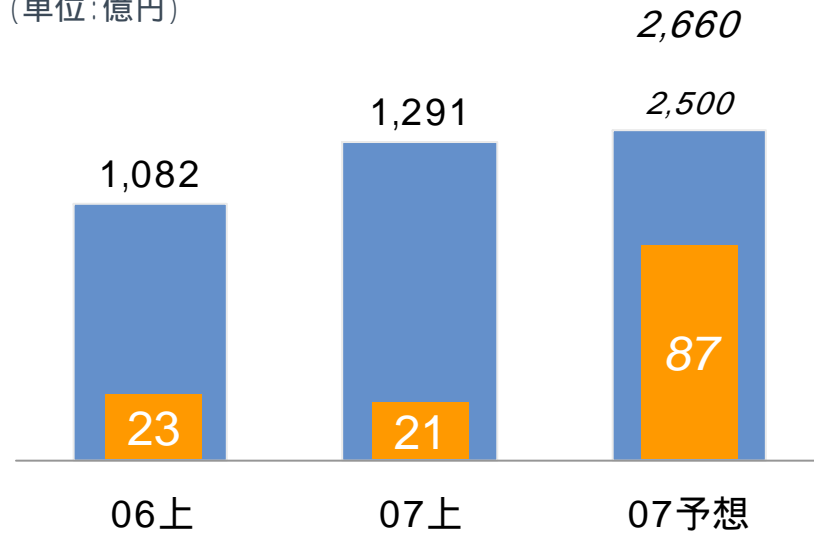
国内(特殊)・台湾(一般)とも旺盛な需要続く

電装・エレクトロニクス

FURUKAWA ELECTRIC

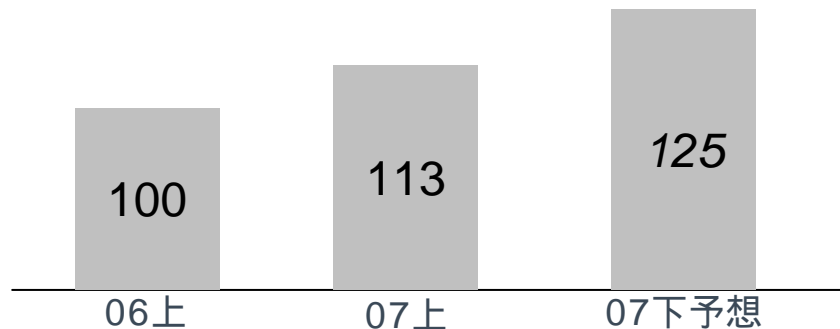
売上高 ■ 営業利益 ■

(単位:億円)



成長商品の売上高(06上 = 100)

メモリスディスク



06上 07上 23 21 -2億円

自動車部品
 ハーネス回復
 エレクトロニクス・巻線
 - サーマル製品、メモリスディスク好調、巻線低調
 電池
 鉛高騰により損益悪化

07上予 07上 24 21 -3億円

自動車部品
 ハーネス回復
 エレクトロニクス・巻線
 サーマル製品、メモリスディスク好調、巻線低調
 電池
 鉛高騰により損益悪化

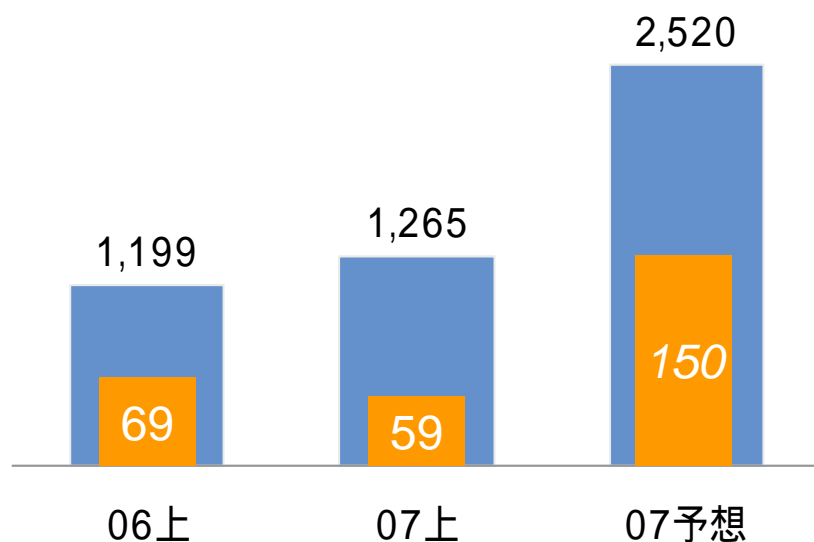
06 07予 87 87 ±0億円

売上高予想アップ 銅地金高 ハーネス売上増
 自動車部品(ハーネス・電装部品)
 ハーネス8月から新車種向けスタート
 エレクトロニクス・巻線
 サーマル製品はゲーム機向け中心に好調
 電池
 鉛高騰分価格転嫁を推進

軽金属 (古河スカイグループ)

売上高 ■ 営業利益 ■

(単位: 億円)



06上 07上 69 59 -10億円

アルミ地金価格高騰継続により売上増

- 売上数量減少 (-2%) と品種構成差により利益減
- 半導体製造装置等の需要低迷により厚板減
 - LNGタンク材、自動車ラジ材等は好調

07上予 07上 73 59 -14億円

- 売上数量減少と品種構成差により利益減
- 半導体製造装置等の需要低迷による厚板減響く

06 07予 150 150 ±0億円

- 厚板需要回復を見込む
- 生産品種集約の効果実現

ご清聴ありがとうございました。

Bound to  ***Innovate***

将来情報についての注意事項

この資料に記載されております売上高及び利益等の計画のうち、過去または現在の事実に関するもの以外は、当社グループの各事業に関する業界の動向についての見通しを含む経済状況、ならびに為替レートの変動その他の業績に影響を与える要因について、現時点で入手可能な情報をもとにした当社グループの仮定及び判断に基づく見通しを前提としております。

これら将来予想に関する記述は、既知または未知のリスク及び不確実性が内在しており、例として以下のものが挙げられますが、これらに限られるものではありません。

- ・米国、欧州、日本その他のアジア諸国の経済情勢、特に個人消費及び企業による設備投資の動向
- ・米ドル、ユーロ、アジア諸国の各通貨の為替相場の変動
- ・急速な技術革新と当社グループの対応能力
- ・財務的、経営的、環境的な諸前提の変動
- ・諸外国による現在及び将来の貿易規制等
- ・当社グループが所有する有価証券等の時価の変動

従いまして、実際の売上高及び利益等と、この資料に記載されております計画とは大きく異なる場合があることをご承知おき下さい。なお、当社グループは、この資料の本リリース後においても、将来予想に関する記述を更新して公表する義務を負うものではありません。

著作権等について

この資料のいかなる部分についてもその著作権その他一切の権利は、古河電気工業株式会社に帰属しており、あらゆる方法を問わず、無断で複製または転用することを禁止します。